

プロジェクトメンバー

これからの時代のオフィス環境づくり
タスクフォース（2024年度）

足立 和人
大角 和輝
加藤 慎吾
菊地 佑
重吉 実和
末 祐介
中矢 昌希
前田 和輝
前田 翔太
森本 夏実 ※50音順

設計

株式会社エトアスタジオ+溝部礼士建築設計事務所
株式会社グリーン・ワイズ（ランドスケープ）
森山 茜 Studio Akane Moriyama（テキスタイル）
杉尾篤照明設計事務所（照明）

施工

株式会社船場
阪神園芸株式会社
株式会社飛驒の森でクマは踊る（カウンター・外構サイン）
進弘産業株式会社（テキスタイル）

1TTANクリエイティブ

コピーライティング：株式会社parks
ロゴデザイン：清水 艦期

共創パートナー

株式会社エトアスタジオ
株式会社ロフトワーク

スペシャルサンクス

小泉 寛明（神戸R不動産）
高橋 溪（コルアーキテツツ合同会社）
宮武 慎一（安井建築設計事務所）
増田 昇（大阪府立大学名誉教授、LAまちづくり研究所所長）
久米 昌彦（東邦レオ株式会社）
宇田川 鎮生（西田工業株式会社）
太田 陽介 / 鷺田 悟志（植彌加藤造園株式会社）
水口 貴之（京都R不動産）
井上 達哉（VUILD株式会社）
大谷 訓大（株式会社阜月屋）
共創プラットフォーム「PYNT」（株式会社日建設計）
まろ（場リスタ）
マリコ（バリスタ）
原口 唯（株式会社YOUI）
三宅 香帆（文芸評論家）

and more...!

ここらでいったんHAND BOOK 制作

発行・企画：中央復建コンサルタンツ株式会社
コンテンツディレクション：株式会社ロフトワーク
編集：濱部 玲美（株式会社KUUMA） / 株式会社ロフトワーク
撮影：小椋 雄太 / 山元 裕人
執筆：株式会社ロフトワーク
アートディレクション・デザイン：NATSUKI HOSOKAWA DESIGN
イラスト：マエダ ユウキ
印刷：ユニスガ印刷株式会社

こ こ ら で

い っ た ん

H A N D

B O O K

新しく生まれ変わった大阪本社。オフィスをただきれいにリニューアルするのではなく、新しくなったオフィスと共に社員一人ひとりの意識と行動を変えていくことが真の目的です。ここには、日頃協働するエージェントやプロジェクトのコーディネーター、地域づくりのプレイヤーたちが、より良い価値を能動的に創造するための仕掛けをたくさん施しています。その仕掛けを活かし、未来への種を蒔き、水をあげ、育てていくのはこれから。

このハンドブックは、一人ひとりがオフィス環境を使いこなすためのガイドです。

構想から4年。数々の試行錯誤、実験、対話を繰り返し、ついに使いはじめる土壌ができました。

誰と使おうか。わくわくと想像を巡らせて。

RENEWAL

HAND BOOK
いったん

INDEX



P.02 はじめに

P.04 CFKが目指す未来
ステートメント

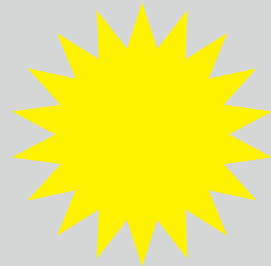
P.06 道のり オフィスが変わる、
私たち自身が変わる

P.08 オフィスリニューアルの
合言葉

P.12 新オフィスの
使い方

P.16 オフィスで
生まれる風景

P.18 おわりに



!?



誰よりも、好奇心



好奇心。

我々が能動的に働くための原動力のひとつで、
最も根源にあたるもの。

未知への好奇心が知を生み、人への好奇心が会話を生み、
それらが繋がると価値になる。

互いを知り、尊重しあい、新たな価値を目指す好奇心が、
これからの**CFK**に重要なものである。

当たり前だが忘れがちな、この好奇心。
オフィスに、働き方に、仕事に、好奇心を刺激する仕掛けを。

未来への道標は、 次世代を担うCFK社員から生まれた

一見、無関係や無駄だと思えることをすぐに切り捨てず、
関心を持ってみる。まずは、知ろうとしてみる。

建設コンサルタントという業種や職種にとらわれすぎず、

一人の人間として。これからの自分も人も社会も、
もっと良くしていきたいから、好奇心を持続きたい。

「誰よりも、好奇心」。この言葉には、
社員のそんな想いが込められています。

オフィスを変えることは、自分たちが変わっていくこと

リニューアルまでの 4年間の歩み

「これからの時代のオフィス環境づくり」と「価値創造につなげる新しい働き方への進化」は、はじめから常にセッ
トで考えてきました。そのため、構想段階から働き方やマ
インドを変える活動に積極的に取り組んでいます。

ワークショップ

まだまだ想像できない未来

私たちに必要なオフィス、効果的で自
然体、選択肢があって、理想的な働き
方って何だろう。まずは対話を重ねて、
妄想することからはじめてみよう。

オフィス空間と働き方を探るフィールドリサーチ



会社員の私たちと、 普段着の私たちを 共に楽しませよう

数社のオフィス空間を探访し、
働き方自体も探究。オフィス空
間でも、自分らしさを出していく
ことの良さを発見。

新しいオフィスの コンセプト策定

キックオフ

部門横断で タスクフォースを結成！

年長者と中堅・若手から成るタスク
フォースを軸として、「すべての人のうち
にある創造性を信じるクリエイティ
ブ・カンパニー」であるロフトワークと
「AR技術を取り込んだ新しいデザイン
手法を取り入れ、手を動かし感じなが
らつくる」建築デザインユニットetoea
studioを共創パートナーに選定。

2022

基本設計

外部パートナーとの対話

社外の人と一緒に アイデアを育てる

外部パートナーとの対話、社員との議論を通じて、
オフィス空間の仕掛けを何度も何度もブラッシュアップ。



社内実験

考えつつ、 実際に試してみよう

旧オフィス空間の各階で「もう一つの居場所」をつくる社内実験を実施。
ソファベンチやハイテーブル、スピーカー等を設置することで、心の持ち
ようやコミュニケーションの変化を実感。

実施設計

オフィスの在り方を超え、働き方や価値創造への気づきを得て「プロジェクト志向」を体現するフィールドリサーチ

完成しない、 変化し続ける

生物多様性に配慮した庭「渉成園」は、
自然と対話をしながら長い時間軸で
庭づくりを行っている。オフィス環境
も、きれいに整えて形を決めてしま
うのが良いわけじゃない。完成はせず、
時代に応じてどんどん変化できるオフィ
スになるという。



面白がる共同体、面白がる姿勢

鳥取県智頭町へ。林業とデジタルテクノロジーを掛け合わせた「林業のマイクロ
六次産業化」を学ぶ。数ある林業の課題を、仲間と実験的に面白がりながら取
り組む姿勢に刺激を受けた。



譲れないこだわり“ギャルマインド”

先進事例として建築設計事務所のオフィスを見学。慎重なベテラン社員と若
手社員の意見がぶつかった時、自分たちの譲れないこだわりを「ギャルマイ
ンド」で対話していったそう。CFKメンバーの心にも突き刺さった。

「これから」を担うU35世代のつながりを醸成

ムードを変えて本音を話そう



会議室の中にパリストが登
場し、いつもと違う雰囲気の中、U35社員が集まって本音
トーク。自分の意見を持つ若
手社員が多いことを実感。こ
れを機会に若手発の活動を
広げたいという機運に。

ロジックモデル作成

自分で描いた地図を頼りに 一步前に進め。また描き直せばOK



未来の視点を出発点に、逆
算的に今すべきこととの接
続を考える設計図であるロ
ジックモデルを作成。未来
の地図に正解はない。まず、
決めて進むことが大事。

施工

2024

トーク&ディスカッション

ノイズを取り入れよう！

1階ホンダナ(本棚)のコンセプト
や運用ルールを考えるために
『なぜ働いていると本が読めな
くなるのか』の著者、三宅香帆さん
の講義。何でもインターネットで
検索可能な今、知りたいことの背

景文脈や周辺知識は不必要な
“ノイズ”として切り捨ててしま
いがち。だけどこのノイズを本から
取り入れることが大事。一人ひと
りの個性を磨き、ホンダナでそ
れをつなげていく。



2025

第1期竣工

始動！

好奇心を後押しする合言葉

いったん

社会的責任が大きい業種柄、「思いつくまま合意なしに動くことはタブー」というマインドが緩やかに存在してきたのかもしれませんが。

そんなCFKがオフィスリニューアルに伴い、

1Fを「1TTAN(いったん)」と名付けたのには理由があります。

成功するとかしないとか、社会のためとか会社のためとかの前に、

自分の中に存在する好奇心に従って

まずは「いったん」やってみよう、という想いから。

好奇心を後押しする合言葉として、「いったん」とつぶやいてみましょう。

オフィスのここでも、そこでも、どこでも「いったん」やってみよう！」

3F、8F、中庭・屋上は2025-2026年度中に順次リニューアル予定

4-7F 執務フロア

一人で、チームで、部門を超えて
フロア全体があらゆる働き方を許容する
コラボレーションエリア

1F 1TTAN

好奇心とコラボレーションを育み、
外へとつながる開放的なエリア

1Fの新しい名前

1TTAN

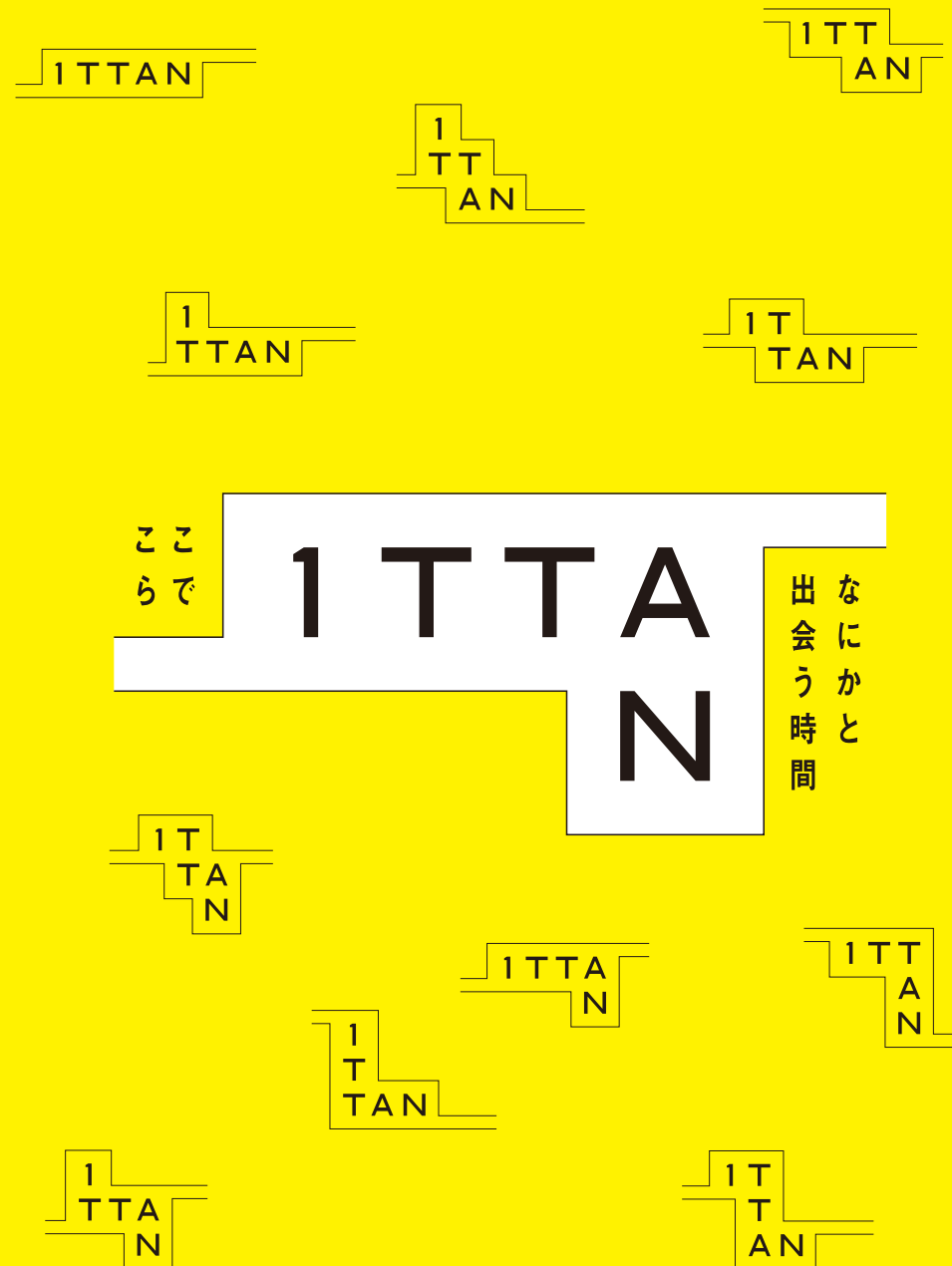
明確な目的や動機がなくても「一旦」1Fに行ってみれば、面白いことや新しいことに会える・相手の意外な考えの「一端」を知ることができる・誰かとながら何らかのチームの「一端」になれることを表現しています。1Fにあること、はじまりのそばにあることから「1」を「1」としています。そして実は、1Fの面積が、田んぼなどの面積を表す「一反」とほぼ同じ…
※約1000m²
なんて小ネタも。

タグライン ところで

考えごとの途中で視点を切り換えたい時や、ひと息入れたい時、誰かと話をしたい時などにふと口をついて出てくるような、日常にとけ込む言葉。

空間の定義 なにかと出会う時間

ゆくゆくはオフィスの枠を越えて対象を限定せずに、社外や地域の方々まで出会いの可能性をさまざまなかたちに広げていける空間であることを表現。「出会う場所」ではなく「出会う時間」と定義している理由は、その場で即物的に起こる出会いだけでなく、新たな興味やひらめきなどの内面的な出会いや、後からじわじわ効いてくるような体験も大事にしているから。



なにかと 出会える1Fへ。 ここらでいったん、 行ってみよう！

あちらこちらでさまざまな活動が実現可能な1F。
社員同士、お客さまを招いて、いろんな使い方を試してみよう。
天井を横断する柔らかい布でできた「垂れ壁」が、
空間に一体感を与えつつも、各エリアでの活動を緩やかに仕切り
適度な距離感をつくれます。

2 Cスタ

素の自分でいってみよう

趣味の共有や社内交流会の打ち合わせなど、仕事で所属しているチームとは異なる顔ぶれでも集まれるみんなの会議室。

#コミュニケーション
#コラボレーション #コネクト

1 パーク

思いついたらやってみよう

名前の通り、公園のような寛容性のある場所。トークイベント、展示、スポーツのパブリックビューイング…
浮かんだアイデアを気軽に試してみよう。

#交流 #展示 #講演

垂れ壁

3 ホンダナ

知識の深呼吸をしよう

業務外の情報や自分と直接関係がなさそうに見える本を眺めてみると、頭のスイッチが切り換わり、知らず知らず新しい刺激と知識をインプット。読んだ感想をノートに残そう。

#学び #刺激 #共有

4 クロスタ Xスタ

なんでも試してみよう

・Xスタ豆知識

動的に情報共有ができ、新たなアイデアやコミュニケーションを誘発するスタジオ

壁面2面とテーブルに映像を投影しながらディスカッションすることができる。テーブル上では文字やスケッチをデジタルで書き込んだり、手で映像を操作することが可能。

#交差 #拡張 #変化

5 アメニワ

#治水 #循環 #防災

・アメニワ豆知識

自社オフィスで行う小さな環境改善実験

「雨庭」とは、降った雨水を下水道に直接放流するのではなく、一時的に貯留しゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間のこと。淀川や神崎川の内水氾濫時には浸水が想定されているこの地にアメニワをつくることで、少しでも被害の低減に貢献したい。大阪の厳しい夏の暑さを少しでも和らげたい。在来種を中心に、季節の変化を楽しめる種を植え、中を歩ける設えにすることで、地域にもやさしいみどりに。

6 カウンター

互いのコアに触れよう

・カウンター豆知識

公共空間の支障木を素材としたカウンター

公共空間の整備に支障する樹木を家具材として有価で引き取り、etoe studioがデザイン、ヒダクマ（株式会社飛驒の森でクマは踊る）が製作。樹木は曲がっていたり大きさがバラバラだが、デジタル技術（3Dスキャンやパラメトリックモデリング）を用いることで、素材を有効活用しながら個性的なデザインを実現。公共工事で伐採される樹木が資源としては生かされていない課題に対して、自社オフィスの家具製作のプロセスに、これまで使われていなかった資源を循環させ、別のものに再生する「循環型経済」の仕組みを実験的に導入。

バーやカフェのようなカウンターは、気分を切り替えて仕事ができる。飲食を伴う交流の場としている者同士でも新たな一面を知ることができかも。

#休息 #切り替え #交流

遊び心で 可能性広がる、 オフィスの使い方！

新しいオフィスに仕掛けられた空間の特徴や設え。
遊び心を持って見ると、思わぬ使い方を発見できるかも！
同僚と一緒に、ぜひ試してみよう。

1 ハイテーブル

目が合ったら会話しよう

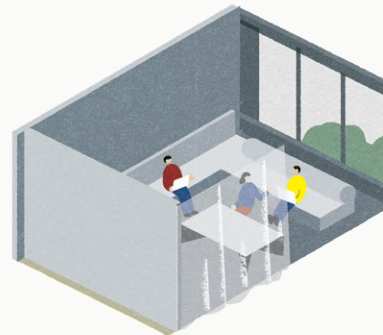


ふらっと立ち話がしやすい
ハイテーブル。ふと目が合っ
たら立ち止まって「最近ど
う？」と会話しよう。

#立ち話 #共同作業 #共有

4 ミーティングルームC

ひと息ついて雑談しよう



薄いカーテンでゆるやかな境界線をもつミーティングルームC。ランチやお茶をしながら雑談を交わす場所として活用してみよう。ほんのりもれ出す会話が、心地よいBGMになることも。

#ランチ #休息 #雑談

5 ソロブース

缶詰で、自分ワールド



集中したい時に活用できる個人ブース。小さな音量で、好きな音楽をお供に仕事するのも良いかも。自分好みの集中方法を試してみよう。

#集中 #切り替え #追い込み

6 ソロダイブ

好きな景色へダイブしよう



窓に向かって設置されたソロダイブ席。朝日の時間、夕暮れの雲。景色の変化で気分を変えて集中作業。時には別のフロアへのダイブも。

#個人作業 #窓際 #気分転換

3 チームミーティング

開いて、見せよう



オープンな空間の会議。議論の様子を見せることで、通りすがりの意外な人から有意義な意見をもらえるかも。私たちの使い方次第で、会議はもっと開かれていく！

#公開 #共有 #交流

2 ボックス席

カジュアルに相談しよう



ちょっと区切られたボックス席は、かしこまらない面談や相談にピッタリ。後輩や先輩と業務内外問わず活用できる相談場所として。

#切り替え #少人数 #リラックス

執務フロア

一人で、チームで、部門を超えて
フロア全体があらゆる働き方を許容する
コラボレーションエリア

4-7F

好奇心が 生み出す、 未来予想図

新しいオフィスに刺激され
働く姿勢が変わってくると
予想もしなかった景色が生まれてくるはず。
CFK社員が「やってみたい」と思った
あんな未来、こんな未来を紹介。

半年ごとの席替え

執務・チームテーブル

個人の荷物が減り、身軽になった
からこそ、半年に一度くらい席替
えなんてことも。新たな交流が生
まれたりするかも。



みんなで気軽な運動

1F・アメニワ

外の空気を吸いながら、ラジオ
体操やストレッチ。遊び感覚で
健康維持も大切に。



みんなで淹れる コーヒーブレイク

集中した後は、自分たちでハン
ドドリップしたコーヒーを飲ん
でひと息つこう。

お気に入りの服で 入社DAY

スーツやオフィスカジュアルで
はない、自分らしい服で仕事し
よう。



交代制マスターの CFKバー

1F・カウンター

社員が交代でマスターを務める社
内交流会。マスターの意外な趣味
や思考が見えてくるかも。



押し展示ギャラリー

1F・ホンダナ

例えば、スニーカー。来月は、虫の
標本？社員の“押し”を見えるよう
にするギャラリーとしても本棚を
活用！



朝活で街も 心もスッキリ

会社周辺の公園や道路の清掃活動
をした後に、みんなで朝ごはんを
食べてから、仕事スタート。

先人の知恵博物館

1F・パーク

実は知らない、上司や先輩の業務実績や
そのプロセスに触れる展示企画。

公開模型制作

執務・チームテーブル

誰でもいつでも見える場所
だから、模型を見ながら気軽
にディスカッション。



FUTURE

どんな未来を描きたい？

私たちの今の好奇心が、
オフィスの風景も、社会の風景も
変えちゃうかも。

例えばこんな2030年

誰もが新しい領域や活動に
積極的にチャレンジするムード

CFKが提供する価値が
さらに拡大、高質化する

土木業界以外も含め、
取材や講演デビューする社員が増える

就活生やインターン生から、
「CFKで働くと面白そう！」と言われる

1TTANが地域の方々の憩いや学び、
交流の止まり木となる

例えばこんな2050年

発注者と受注者の間で
改善と連携のスパイラルアップ
お互いにリスペクトし合う良き関係

ネオCFK
新しいコア事業、
「X」の誕生

住みたい
働きたい
過ごしたいと
思える地域づくりが、
公民連携で進んでいる

さあ、
ここで、いったん、
何する？